

# みえ発! ボラパックとは?

「少しでも被災地の方々の力になりたい!現地へ行ってボランティア活動をしたい!」と考える方々に対し、費用の負担やさまざまな不安を軽減し、一人でも多くの方が現地で活動していくためのボランティアバスパックツアーです。

週に1便程度のペースで、三重県津市から岩手県山田町に向けての片道約15時間の道のりをバスで運行しました。発災後、先遣隊メンバーが真っ先に現地入りし、第1～4次隊まで、ボラパックの運行のための調整を担いました。

その後、4月下旬よりボラパック第1便が山田町に入り、11月中旬の第36便まで継続しました。各便、約10名～30名、老若男女のメンバーがひとつのチームとなり、参加者の中から選出したリーダー・サブリーダーを中心に約1週間の行程で活動しました。現地では、三重県のボランティア＝「みえボラ」の愛称で呼ばれていました。

連合三重は、こうしたみえ災害ボランティア支援センターのボラパックを通じて、災害ボランティア活動に参加しました。



## みえ災害ボランティア支援センターが山田町を支援する理由

ボランティアを行う上で活動先の地域の方々と信頼関係を構築することが必要不可欠と考え、支援先は1か所に絞込みました。

既に支援に入っている防災NPO仲間から情報収集すると共に、

- (1) 首都圏から遠く、ボランティアが集まり難いと思われた
- (2) 長期活動に適した無償の宿泊施設を確保できた
- (3) 三重県東紀州と似たリアス式海岸の町で、復旧・復興の得がたい教訓を学べると考えられた
- (4) 先遣隊調査により三重から支援できるニーズが見つかったなどの理由から山田町を支援することとしました



## ボランティア活動保険

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中における様々な事故からボランティアの方々を補償する保険です。防災・災害ボランティア活動も補償の対象となります。

加入申込手続き方法等については、もよりの社会福祉協議会にておたずねください。

提供/みえ災害ボランティア支援センター

生文 第05-27号  
平成23年5月23日

日本労働組合総連合会三重県連合会  
会長 土森 弘和 様

三重県知事 鈴木 英 様

みえ災害ボランティア支援センター長  
山本 康 様



### 災害ボランティア活動への支援・協力について (依頼)

平素は、市民活動および防災対策の推進にご協力いただきありがとうございます。

さて、三重県では、三重県地域防災計画に、大規模災害発生時の復旧・復興に大きな役割を果たす災害ボランティア活動の支援のための活動環境の整備、人材の育成、協力体制の構築について定めています。

このため、今般の東日本大震災の発生においても、直ちに、ボランティア関係機関等と協働で「みえ災害ボランティア支援センター」を設置しました。

現在、みえ災害ボランティア支援センターでは、被災地へボランティアを送り出す『みえ発!ボラパック事業(ボランティアバス)』により、岩手県山田町の復旧・復興活動にあっています。また、津波で汚れた写真やアルバムなどをお預かりし、きれいにしてお返りする『思い出戻し隊・みえプロジェクト』をはじめ、三重からできる支援活動を進めるとともに、その活動の基盤となるボランティア活動への参加者や支援金を募集しています。

また、同時に、県内各地域、各団体においても、東日本大震災に関する様々なボランティア活動に関する取り組みが行われています。

つきましては、東日本大震災に伴う災害ボランティア活動全般に対してご支援いただけますとともに、企業等における従業員の災害ボランティア活動への参加と休暇取得等について格段のご配慮をお願いいたします。

なお、貴団体会員への周知につきましても、あわせてお願い申し上げます。

#### 【事務担当】

三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室 NPOグループ  
電話 059-222-5981 FAX 059-222-5984 e-mail seiknpo@pref.mie.jp  
みえ災害ボランティア支援センター  
電話 059-226-6916 FAX 059-226-6918 e-mail center@v-bosaimie.jp

# ある日のボランティア活動

山田町でのボランティアの一日を運営側・現場側のそれぞれの視点でご紹介します。もちろんボランティア活動が中心の毎日ですが、チームで生活する上での様々な規則、毎夜欠かせないチームミーティングや、メンバーとの楽しい時間も思い出の一つ。各便に様々なカラーがあり、季節や状況が日々変動する環境の中での活動でした。



毎朝6時から全員でラジオ体操



宿泊所「B&G海洋センター」の清掃



各自が持参したパンやカップラーメンで朝食



ボランティア活動の登録受付

## 運営支援 ボラの一

## 現場活動 ボラの一

	6:00	
	起床・ラジオ体操・清掃	
	7:00	
	朝食・準備	
朝礼	8:00	登録受
ボランティアセンターミーティング 電話対応		
	全体朝礼・マッチング	
資機材受け渡し		資機材借用
配車	9:00	出発
随時ボランティア受け入れ・電話対応	10:00	現場活動
配車	11:00	帰着
	12:00	
	昼食	
配車	13:00	出発
当日集計・翌日のニーズ選別と活動の確認	14:00	現場活動
配車・資機材受け取り	15:00	帰着 資機材洗浄・返却
報告聞き取り	16:00	活動報告
ボランティアセンターミーティング	17:00	入浴・買い出し
チームミーティング	18:00	夕食
夕食	19:00	チームミーティング
	20:00	
	21:00	
	22:00	
	消灯	



全体朝礼とボランティア作業の概要説明



機材の貸出し



現地でボランティア作業の確認



ボランティア活動



機材の洗浄・返却

## 一日 お疲れ様でした



消灯・就寝 体育館のため寝袋を使用



チームミーティングで本日の反省と翌日の作業確認



夕食は事前に注文・購入したお弁当(昼食はおにぎり)



5~10便まで借用した自衛隊風呂、11便以降はシャワーを借用  
提供/みえ災害ボランティア支援センター

# ボランティア活動の準備と心得

## 【携行品チェックリスト】

品目	チェック
寝袋または寝具	
フロアマット(就寝時に敷くもの)	
作業着(長袖、長ズボン)	
合羽(上下に分かれたもの)	
※作業用靴(足裏を保護する安全中敷きも必要)	
※帽子またはヘルメット	
※ゴーグルまたはめがね(粉塵対策)	
※作業用手袋(手・指先を保護するもの)	
マスク(※防じんマスク)	
タオル・体拭きシート	
洗面用具	
懐中電灯(非常時の備えとして)	
携帯電話(充電器共)	
身分証明書(運転免許証)	
健康保険証・ボランティア保険加入証	
救急セット	
筆記用具	
その他(常備薬など各自の必需品)	

留意事項(※の付いた品は現場活動に参加する場合に必要となります)  
 気温差に対応できるよう、着るもの(羽織るもの等)で調整してください。  
 がれきのある場所では粉塵が多く、釘など鋭利なものを踏み抜いたり、手先を傷つける危険性があるため、マスク(防じん用)・ゴーグル・底の頑丈な靴(または靴に入れる安全中敷き)・作業用手袋を必ず用意してください。  
 ボランティアセンターの体育館は土足で出入り可能です。歩きやすい運動靴の着用をおすすめします。  
 往復とも長時間のバス移動となるので、車内用のスリッパや空気枕等が必要と思われる方は各自でご用意ください。

提供/みえ災害ボランティア支援センター



## 現場作業での事故防止

クギの踏み抜きや、尖ったもので負傷する事故が実際に起きています。粉じん対策とあわせ、装備をしっかりとって注意深く作業してください。

- ◆ 安全中敷きで靴底を補強する、丈夫な手袋(皮、ゴム張り)をする
- ◆ 暑くても肌を露出しない服で作業をする、マスクを着用する
- ◆ 作業手順(土のう袋の取り扱いなど)の指示を守る

## 体調管理をしっかりと

自分に出来る範囲の活動を行うことと、休憩を心がけましょう。体調が悪い時は参加を中止することが肝心です。

- ◆ 熱中症を予防するため、こまめな水分補給や休憩を心がける
- ◆ 食中毒にならないよう、お弁当類は時間をおかずに食べきる
- ◆ 小さなケガでも破傷風感染の危険があるので、必ずリーダーに報告する

## 非常時に備える

滞在中、大きな余震や津波が来る可能性が全くないとは言いきれません。

- ◆ 現地に到着後、すみやかに避難場所・避難経路を確認する
- ◆ 懐中電灯や救急セット、保存の利く非常食を持参する

提供/みえ災害ボランティア支援センター

道具用途一覧

**鍬スコップ**  
掘り土・埋積した土

**角スコップ**  
床下の泥出し  
道路や側溝などの  
平たい所

**十能**  
縁の下・側溝

**ミニスコップ (コテ)**  
家の中の細かい土

**じょれん・どうくわ**  
側溝

**バケツ**  
ぞうきん・タオル洗い  
※取っ手が壊れるので入れすぎ注意  
壊れにくい丈夫なものが多い

**一輪車**  
荷物・泥の運搬  
水を入れるなど  
丈夫なタイプがオススメ

**土のう袋**  
泥・土が入れ替え・廃棄物を入れる  
※腰を痛めるので5〜7割以上は入れない  
水は時間がたてば抜けるので気にしない  
平に積み重ねると崩れにくく、キレイ  
泥が流れ出さないようしっかり口を結ぶ

**パール (大・小)**  
土壁落とし・家具の解体  
床板はがし・側溝の蓋開け  
テコがわり

**かけや**  
土壁落とし

**のこぎり**  
流木などの切断  
フローリングの  
床板はがし  
※型専用カキ木用が便利

**デッキブラシ・たわし**  
床板・道路・壁掃除

**水切り**  
※雑巾より便利

**モップ**  
水切り・拭き掃除

**★土のう袋をしぼるコツ**

1. 土のう袋をしっかりと絞る
2. 土のう袋をしっかりと絞る
3. 土のう袋をしっかりと絞る

※土のう袋の口はしっかりと絞ると泥がこぼれやすいため、しっかりと絞る。

**ほうき**  
掃き掃除  
※室内用と屋外用と  
分けて使う

**雑巾・タオル**  
拭き掃除  
※普通タイプがとにかく  
便利。大きいと干さな  
くて不便

**スポンジ・歯ブラシ**  
細かいところの掃除

**ちりとり**  
水切りがわり  
狭いところの泥だし  
※割れにくい金属製が  
オススメ

あると便利な道具たち

**左官用フネ**  
機材・長靴の洗浄  
※資材担当で活躍

**高圧洗浄機**  
高いところの洗浄  
道具の掃除  
※レンタルあり

**チェーンソー**  
流木・倒壊家屋の処理  
※使い慣れている人のみ

**ブルーシート**  
資材などの下に敷く  
資材の保管・屋根掃除

**パワーショベル**  
荷物運搬・ガレキ撤去  
泥だしなど  
※レンタルあり・免許  
必須。バケツサイ  
ズ0.1立米が手ごろ

**フレコン (トンバ)**  
大量の泥  
※重機での回収が必要

**軽トラック**  
人・物の運搬  
※小回りが利いて狭い  
道でもOK  
レンタルあり

安全と衛生 無理せず、ケガなく

**粉塵**  
ほれに短時間で病気を起こす恐れあり。  
一粉塵用のマスクやタオルでカバー  
熱中症  
大量の汗や通気性の悪い服での作業・腫  
脹不足・お酒の飲み過ぎに注意!  
→水分・塩分(水だけじゃダメ)・休憩

**破傷風**  
深いしに注意!  
ケガをしないように長袖・手袋  
・長靴・安全靴を装着する  
活動後はうがい・手あらい!  
目に泥がよくなるので真水が  
あると便利。

発行：特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 協力：全国社会福祉協議会 全国ボランティア活動推進センター

提供 / 特定非営利活動法人レスキューストックヤード

一輪車で荷物を運ぶ時  
ハンドルを崩して倒れたら... → 後方に置いてあった  
土のう袋から中に入っていた  
ガラスが突き出て  
ふくらはぎを裂傷。

自分の  
周囲の環境  
にも注意!!

土のう袋を持ち上げた時  
中に入っていた金属の棒が  
突き出て手首を負傷。

土のう袋の中身に注意!!  
※ガラスが混入している場合、  
ゴム手袋を必ず着用をお願いします。

すり傷や足のケガでも  
破傷風に感染する  
危険があります  
少しのケガでも  
医師による治療  
が必要ですよ!!

暑いからといって  
軽装での作業は  
危険ですよ!!

水分  
熱中症にならないために  
こまめに水分補給を  
しましょう!!  
体調もしっかりしましょう!!

かき撤去の現場作業の  
クギの踏み抜き事故。  
安全中敷を必ず  
使用しましょう!!

ヘルメット  
または  
帽子  
マスク  
長袖  
長ズボン  
長靴  
ゴム手袋  
または  
ゴム手袋  
手袋  
長靴

食中毒の危険があるため、お弁当などは  
時間をおかずにすぐに食べましょう!!

被災地の道路は  
陥没、段差、デブコが  
多くみられます。  
安全運転を  
心がけましょう!!

**安全第一**

提供 / みえ災害ボランティア支援センター